



初春を迎えて、笑顔のあふれる町づくり

小野町長 穴戸 良三

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、新しい年を迎えられ益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成20年がスタートしました。お正月には町民のみなさん全員が晴れやかな気持ちで、今年のご多幸と家内安全をご祈願なされたことと思います。本年は子年の干支にちなんで、元気な子どもがいっぱい誕生して欲しいと思います。平成生まれの子ども達がまもなく成人式を迎えるようになりました。小野町で生まれ育ち成長していく子ども達が、将来に向かって大きく羽ばたき大活躍をしてくれることを夢見ます。

昨年は台風9号や20号など当町におきましても大きな災害に見舞われました。災害は突然訪れると申しませぬが罹災者の方々は大変ご心配のことと思います。あらためてお見舞いを申し上げます。担当課職員一同全力を傾注し災害復旧に取り組んでおります。国の査定も終了し、引き続き早期復旧に向けて逐次適進する覚悟であります。

一方、こまちダムも竣工し、こまち浄水場も供用になりました。磐越自動車道の四車線化工事も平成21年度の完成を目指し順調に進捗しております。平成22年度完成予定のあぶくま高原自動車道や本格的な河川改修の実施に向けての右支夏井川の河川改修整備事業についても積極的に国県に要望活動をしているところです。町道七生根線も今年中にはほぼ完成する予定であり着々と社会基盤の整備に努めているところです。

地方自治体を取り巻く環境は以前として厳しい状況ですが、唯一の解決策は暮らしやすい町づくりと夢の持てる町づくりを目指し、少しでも人口の減少を防ぎ人口増を目指すことだと思えます。

本年度もその観点から、人口の増加に繋がる施策を最優先とし施策の選択と集中により重点化を図り、「子育て・子育てしやすいまちづくり」「活力あるまちづくり」「安全・安心・健康のまちづくり」を重点施策とし一層事業を進めていきたいと考えております。

昨年10月2日から11月27日の期間に全27行政区におきまして町政懇談会を実施いたしました。町民のみなさんの目線と行政の目線を近づけ、目線の一致を目指しております。

特に重要課題として上がりました教育環境・子育て環境・企業誘致・携帯電話・地デジ・光通信ブロードバンド環境等、さらには警察署再編問題、なによりも地域医療に欠かせない公立小野町地方総合病院の問題解決など全力で取り組んでまいります。

「小野町ふるさとカルタ」や「リカちゃん通りのイルミネーションの点灯」「和太鼓愛好会の結成」などみなさんからの夢企画提案も少しずつ実現しております。これからも奮ってご提案ください。

町民の方々といっしょにこれからも町民の幸せを第一に考えてみなさんの笑顔があふれる町政執行に鋭意取り組んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。